

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

さわらび

1 表紙 家族会とゴーヤ植え替え～特別養護老人ホーム 第二さわらび荘～

2 医学講話 認知症の人の思いを理解し共感するケア

◆福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医 継 泰城

6 特集 さわらび会60年のあゆみ

2022
vol.592

8



医学講話

福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医

継 泰 城



認知症の人の思いを理解し共感するケア

はじめに

認知症の人が物忘れをすることは、我々も忘れるため理解することができません。一方、幻覚や妄想が起こると、我々とは違った、理解できない全く別の人格のように扱われます。認知症の人は、脳の一部の機能が働かなくなっただけで、我々と同じ考え方をしています。認知症の人の思いをできるだけ理解し共感することが大切です。

暴言・暴力で緊急入院の事例

レビー小体型認知症の80歳男性の

事例です。入所中の施設で帰宅願望が強くなり、食事もすべて拒否しま

す。施設が困り、家族が家に連れて帰りました。帰宅後も近所を大声で叫び徘徊します。家族が止めると、杖で殴りかかります。やむなく家族は警察を呼び、病院を救急受診。以下は精神科医との会話です。

「〇〇さん」なんだ？俺は何ともないから、家に帰らせろ。

「今日、家に戻ったの？」覚えてらん、何ともないから帰らせろ、興奮しとるだけだ。

「どうして興奮している？」何ともないのに、こんなところに連れてこられたら興奮するだろ。

「家で穏やかにできるなら帰れます

が、今の状態だと家族も困りますよ」
家族なんか困らせればいい。

会話の中で、認知症の人の言っている内容はおかしくなく、思っている気持ちは理解できます。ただ安心して落ち着けるところに帰りたいと思っています。認知症の人は状況の把握や判断能力の一部が欠けていますが、自分の頭の中では正しいと考えて行動しています。家族の方は、暴言・暴力があり、自分達の言うことを聞いてもらえないので困ると言います。しかし、家族は認知症の人の思いを本当に理解したのでしょいか。施設で不安で早く家に帰りたいと思うのと、家でも何か落ち着かず自分の居場所がなく不安なことを家族は理

解したのでしょいか。認知症の人の思いをわかってとせずに、施設や近所に迷惑をかけるから自分達の意に沿ってほしいと家族は一方的に考えています。それでは本人が怒るのは当然です。まずは「（本人が思う）家に帰りたいね」と認めることで、本人も落ち着けるはずですよ。このケースは結局精神科に入院となり、抗精神病薬で暴言・暴力を抑えられ、施設入所になりました。

妄想を激しく訴える事例

レビー小体型認知症の83歳女性の事例です。4年前に運転免許更新で認知症を疑われ当科を初診。認知症と診断されるも、直ぐに通院を中断。2年前に夫と死別し、次男と2人暮らし。隣に長男夫婦が住んでいます。2カ月前、長男が改修のために家の一部を壊すことから妄想が始まりました。「長男が引越しをするよ」と次男に何度も言います。長男宅にも毎晩のように行き「いつ引越すのか、引越すなら一緒に行くよ」と繰り返す

返し言います。親戚にも同様に電話します。また、自分も引越しをしようと家の中を片付け始めます。引越しはしないと何度説明してもわかってもらえず、家族はいらいらし疲れてしまいます。近医に相談し当科を再診されました。

認知症の人は日常で上手くいかなることが多く、常に不安な状態になっています。そんな折、家の改修工事が引き金となり、息子が引越してしまい、自分一人が取り残される不安から、妄想が生まれます。妄想を訂正すればするほど、不安をぬぐえない本人は「ごまかそうとしている」と考え、妄想はひどくなります。反対に「長男が引越したら本当に困るね」と、認知症の人の不安な思いをそのまま受け入れてください。自分の思いをわかつてもらえたことで、安心感が生まれます。このケースは抗認知症薬と少量の抗精神病薬を服用してもらい、妄想は消失し落ち着き、再び自宅での生活ができています。妄想の再燃予防に介護保険の申請を勧めました。人と接することで、認知症の不安がなくなると妄想も起こら

なくなりません。介護の限界が来る前に適切に対応すれば、入院や入所には至らずに済みます。

幻覚、妄想で入院した事例

独居でレビー小体型認知症の87歳

男性の事例です。車をぶつける、道に迷って行方不明になる、電子レンジが使えない、入浴をしないなどの症状があり当科を初診。まもなく、幻覚や妄想が出現。「お祭りのお囃子が聴こえ眠れない。それは息子が装置を作ってやっている」と言います。デイサービスを勧められたが、「行く、行かない」で息子と激しい口喧嘩になる。家族は介護に限界を感じ、入院を希望し救急受診。以下は精神科医との会話です。

「困っていることはないですか？」夜眠れない。

「眠れない原因は？」幻覚。

「どんな幻覚？」ざわざわ音が聞こえる。

「人の声ですか？」人の声と言うより楽器の音というか。

「どんな？」お祭りみたいな。

「それは困りますね」はい。

「幻視は？」仏さんが出る。

「亡くなった方が出てくる？」それもあつし、観音様が出る。

このように、「幻覚は本人にとって実際にあつたこと」のように普通に答えます。また、それに伴って妄想も見られます。

「幻覚は長男のせい？」そう。

「その理由は？」長男は頭が良いから、他の人にはそんなことはできないと思う。

「知らない人が勝手に入っているとかは？」それはない。

「長男さんはやっていないと言っているけど、どう思う？」猿芝居はやめてほしい。

「幻覚は病気の症状なのでは？」長男のせいに違いない。

「家で休めないなら入院する？」入院だけはしたくない。

本人にとって幻覚は現実ですので、そうなる原因が必ずあると考えます。その原因を最も身近にいる人に求めることとなります。本人はそう確信しているので、理屈で訂正するこ

とができません。そのため、本人が幻覚で困っていることを「それは困つたね」と受け入れてあげることです。否定すると妄想はどんどん盛り上がつてゆきます。結局、家族の希望どおり精神科に入院となり、脳の活動を抑える抗精神病薬で幻覚や妄想は消失しました。そのまま施設入所となり、意欲なく一日中ボーっとした状態で過ごしています。

おわりに

異常行動に対して、その思いを受け入れずに、なだめたり、抑えたりすると、症状は反対にひどくなります。家族も一生懸命落ち着かせようとするので、本人はますます反発します。まずは相手の話を理屈なしにそのまま受け入れてください。その思いに共感し、「それは困つたね、それはそうだね」と言ってください。自分の気持ちを分かってもらえたことで本人は少し落ち着けるはずですが、介護の限界が来る前に、専門医を受診してください。

臨床病理検討会からの報告
〜同じ画像でも疾患が違う〜

◆はじめに

図1の脳MRIを見てください。矢状断と水平断の中脳被蓋部の萎縮を認めます。左が正常齢、中央が74歳男性、右が82歳男性です。いずれもこの画像所見からは認知症、パーキンソニズムを示す進行性核上性麻痺という疾患が疑われました。病理解剖による神経病理所見を検討しないと正しい診断ができません。最近の臨床病理検討会で報告された症例を提示します。

◆症例1

67歳頃から易転倒性あり、最初の歩が出ない。言葉が出にくく、ゆっくりで、聞き取りにくいという症状で発症し、図1(b)、(e)に示すように中脳被蓋が萎縮しており、進行性核上性麻痺と診断され、多臓器不全により全経過7年で死亡されました。

病理解剖の所見を検討しますと、図2(a)、(b)に示すようにアストロサイトの核周囲にタウ蛋白が沈着し、tufted-astrocyteという特徴的な構造物が確認され、進行性核上性麻痺という診断が確定されました。

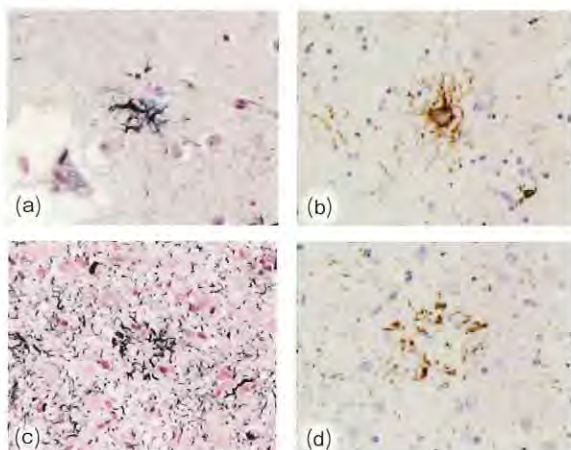
◆症例2

77歳の時に歩行不安定、転びやすさで発症、進行性核上性麻痺と診断され、発症2年後に当院入院し、無動無言の状態継続し、約5年の経過で死亡した82歳の男性です。図1(c)、(f)に示すように、脳MRIでは症例1

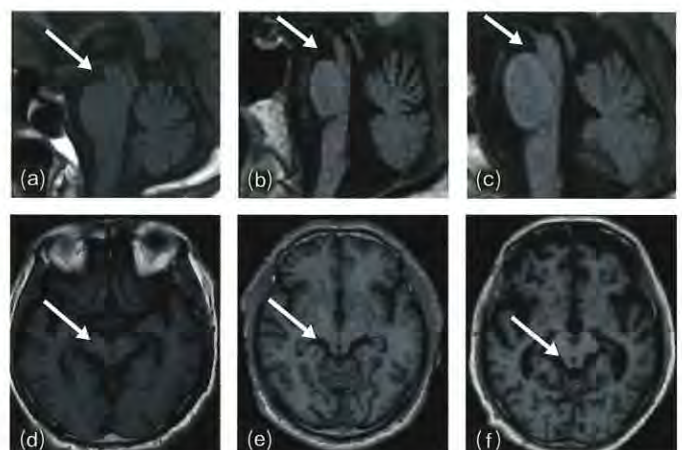
と同様に中脳被蓋の萎縮を認めました。病理所見では図2(c)、(d)に示すようにタウ蛋白がアストロサイトの周辺に花輪状に沈着する astrocytic plaque が認められ、皮質基底核変性症と診断が確定されました。

◆考察

進行性核上性麻痺と皮質基底核変性症は臨床的にも認知症とパーキンソニズムを示し、その鑑別が難しい疾患です。病理学的にも4リピートのタウ蛋白がグリア細胞や神経細胞に蓄積する疾患で、類似しています。現状では神経病理学的にしかその正確な確定診断が困難な疾患です。生前の臨床所見、画像所見、病理所見の検討を続けてゆくことが、これらの疾患の正しい診断と適切な治療につながってゆくことになると考えられます。



(図2)(a)、(b)は症例1のtufted astrocyte/(c)、(d)は症例2のastrocytic plaque (a)、(c)はGallyas染色/(b)、(d)はリン酸化タウ蛋白の免疫染色



(図1)脳MRI所見:(a)、(d)は正常/(b)、(e)は症例1/(c)、(f)は症例2 中脳被蓋の萎縮(矢印)

施設内研修の充実に向けて ～さわらび荘～



さわらび荘では、さわらびグループ内への研修参加や施設内で独自の研修を実施し、また協力歯科である広小路歯科の大賀先生による勉強会を毎月開催しています。研修内容としては、介護に関する研修内容が多い中で、介護職員には積極的に研修に参加することを促し、様々なことを学ぶことで自身の介護のスキルアップを図っています。

今年の7月から、今まで以上に研修への参加を促すことや、研修参加自体が実りのあるものとなること、また施設内研修の充実を図ることを目的に、介護職員が毎月1人必ず講師となり、職員向けの研修を同一内容で2回行うこととしました。

介護職員自身が講師となることで、事前準備での資料などの作成や質問などへの備えを通して内容をより深く学び、当日の講義の進め方に至るまで計画性を持つての準備が必要になります。

また、例えば外部の研修等に参加した職員が施設内で伝達研修を行う場合も、自分自身が講師になると想定して真剣に講義を聞く必要があり、より充実した研修参加になると思われます。

職員自身のスキルアップを図ることでより良い介護サービスが提供され、入居者様の生活向上につながれば、と思います。

(渡邊憲)

特集

さわらび会60年のあゆみ

昭和37年8月、豊橋市東雲町に山本病院が開業いたしました。路面電車豊橋鉄道市内線(東田本線)競輪場前電停下車徒歩2分という利便性と、この場所より東の岩田赤岩方面には病院が無かったことから、子供から大人まですべての年齢の方の医療を担ってまいりました。昭和49年までには脳卒中後遺症の患者様の身体機能回復のためのリハビリテーションや認知症のリハビリを行い、全国から相談、入院が絶えませんでした。以降は認知症、高齢者、障がい者、子供たちが安心して生活できるよう活動してまいりました。今年60周年を迎えることができたのも地域の皆様のご理解ご協力のおかげです。この場を借りて御礼申し上げます。

1962年8月

山本病院 開業



1971年2月

介護婦会 発足



1962.8. 山本病院創立

1967.6. 職員寮新設

1971.2. 介護婦会発足

1973.5. 機関誌早蕨発刊

9. 老人大学開校(後のさわらび大学)

認知症介護の三原則提唱

1974.2. 老後保障推進協議会発足

6. 朝の言葉開始

8. 家族会発足

1975.4. 福祉基金委員会設立

痴呆療法士配置

1976.5. 社会福祉法人認可

1977.4. 特別養護老人ホームさわらび荘開設

6. ライオンズクラブ加入
給食サービス

給食サービス

1978.10. 福祉村許可

1980.1. ボケ110番開設

2. 医療法人認可

4. 身体障害者療護施設珠藻荘開設

1981.4. ユーカリカルチャーセン

ター開設

10. 軽費老人ホーム(A型)若菜荘開設

菜荘開設

1982.3. 福祉村病院開院

4. 精神薄弱者更生施設
あかね荘開設

「老人ボケは治る」出版

11. 第二回さわらび文化祭

1983.4. 精神薄弱者授産施設明日香開設

日香開設

5. サービスセンター開設

1984.8. 福祉村病院第2病棟完成
漢方研究

漢方研究

愛知県痴呆性老人介護技術研修

山本理事長名大医学部講師に就任

講師に就任

1985.3. 「老人ボケのリハビリと看護」出版

「老人ボケのリハビリと看護」出版

1986.2. クリーニングセンター開設
保育室開設

保育室開設

8. 早蕨山瑞恵寺入仏式

1987.4. あかね荘増設

1993年5月

長寿医学研究所発足



2001年11月

福祉村サミット開催



2001年8月

第二回夏休み親子福祉体験講座



2006年4月

老人大学を
さわらび大学に名称変更



- 9. 職員宿舍レジデンスなま完成
- 1988.1. 福祉村公園完成
- 11. 福祉村簡易郵便局開局
- 1989.7. パターゴルフ場完成
- 1990.9. 老人保健施設ジューゲーム開設
- 10. 福祉村ミニ動物園開園
- 1991.4. 明日香増設
生きがい研究
- 1992.2. デイサービスセンターさわらび荘開設
- 4. 知的障害者グループホームさわらびホーム開設
- 8. さわらび不老会
- 11. 市勢功労賞を受賞
- 1993.1. 福祉村在宅介護支援センター開設
- 5. 長寿医学研究所開設
- 11. 福祉村キャバラン隊
- 1994.1. 老年医学会認定施設
- 6. ブレインバンク設置
- 1996.4. 障害者デイサービスセンターしろがね開設
- 1997.4. さわらび在宅介護支援センター開設
- 福祉用具の開発
- 1998.2. ホームヘルパー養成研修事業開始
- 11. インド福祉村病院開院
- 1999.3. グループホーム榛原開設
- 4. 知的障害者授産施設 明日香へ名称変更
- 知的障害者更生施設あかね荘へ名称変更
- 2000.4. 福祉村指定居宅介護支援事業所開設
- 2001.4. 山本病院が福祉村さくら通り病棟に移転
- 8. 第二回 夏休み親子福祉体験講座
- 11. 福祉村サミット開催
- 2003.4. 福祉コンビニ開設(東雲町)
- 11. 特別養護老人ホーム第二さわらび荘開設
- 12. ケアハウスカサデローザ開設
- 2004.4. 第二福祉コンビニ弥生開設
- 5. 福祉村保育園開設
ブックスタート開始
- 7. 夏期学童保育開始
- 10. 長寿医学研究所が科学研究費補助金取扱規程の指定機関となる
- 2005.4. 福祉村ミニ動物園跡地に果樹園開園
- 5. 福祉村サービスセンター増築、改装
- 7. さわらび会障害者居宅介護事業所田原開設

2010年1月
EPA介護福祉士候補生
受け入れ



2014年4月
福祉村病院
認知症予防脳ドック開始



2010年4月
神経病理研究所開設



2018年5月
インド福祉村派遣ボランティア



11. 第2病棟ハーバード浴室
完成

2006.4. 老人大学をさわらび大学
に名称変更

に名称変更

6. 社会福祉法人さわらび会
創立三十周年記念式典

田原市障害者生活支援セ
ンター開設

10. 福祉村障害福祉サービ
ス事業所しらがねへ名称変更

2007.5. 医療ケアホーム開設

7. 地域活動支援センター「な
のはな」開設

10. 障害者支援施設珠藻荘へ
名称変更

2008.4. 障害福祉サービ
ス事業所
明日香へ名称変更

10. 障害者支援施設あかね荘
へ名称変更

2009.3. グループホーム白珠開設

2010.1. EPA介護福祉士候補生
受け入れ

4. 神経病理研究所開設

2011.3. 地域密着型サービ
ス事業
所常盤開設

3. 障害者支援施設珠藻荘
移転改築

5. 地域密着型サービ
ス事業
所カサデヴェルデ開設

特別養護老人ホームカサ
ブランカ開設

認知症リハビリプロジェク
ト開始

2013.3. シャトーローズ八町開設

5. デイサービスセンター八町
開設

山本ゆかり専務理事全国
老人福祉施設協議会副
会長就任

2014.4. 特別養護老人ホーム天伯
開設

介護支援なんでも相談所
「ポピー」オープン

「TeTe」オープン

福祉村病院認知症予防
脳ドック開始

福祉村病院外来二診制
開始

5. オレンジカフェ「シャトー
ローズ」オープン

福祉村病院 東芝社製16
列マルチスライスCT導入

6. 有料老人ホームフェリス福
祉村開設

8. 愛は地球を救う 24時間
テレビに参加

11. 福祉村文化祭子供福祉サ
ミット開催



2021年5月
障害福祉サービス事業所すみれ・
共同生活援助事業所すみれホーム開設



2020年7月
訪問看護ステーションさわらび
住所地球移設



2021年10月
さわらび歯科再開



2020年11月
のびるんdeスクール開始

- 2015.1. 福祉村病院 病院機能評価認定
- 4. オレンジカフェ「ときわ」オープン
- 5. さわらびグループCM放送開始
- 10. オレンジカフェ「カサデヴェルデ」オープン
- 2016.8. 訪問看護ステーションさわらび 開設
- 2016.11. 第16回 全国福祉村サミット〜2035年に向けて、福祉の未来を考える〜青パト(自主防犯パトロール活動)開始
- 2017.2. ヴィーガンクッキー「Fukushi・Mura Cookies」生産開始
- 3. 自然栽培農法開始
- 5. 瑞宝小綬章 受章 理事長 山本孝之
- 6. にぎらな寿司開発開始
- 8. 「幸せに死ぬ義務がある」出版
- ヴィーガンクッキー「Fukushi・Mura Cookies」から「felico」に名称変更
- 2018.1. 「felico」オンラインショップ 開設
- 2019.1. 常盤「みんなの広場」開始
- 2020.4. 福祉村病院介護医療院 開設
- 3. グループホームフジ開設
- 4. オレンジカフェ「天伯」オープン
- 5. インド福祉村派遣ボランティア
- 6. 子ども食堂「ふえりこ」開始
- 8. グループホーム「フジ」ちくちく「ハンド」開始
- 2021.4. 常盤「青空ひろば」開始
- 5. 新型コロナウイルスワクチン高齢者接種開始
- 障害福祉サービス事業所すみれ・共同生活援助事業所すみれホーム開設
- 6. 新型コロナウイルスワクチン集団接種開始
- 10. 福祉村歯科再開
- 7. 訪問看護ステーションさわらび住所地球移設
- 8. 福祉村病院1病棟1階を地域包括ケア病棟へ変更 第17回夏休み親子福祉体験講座 オンラインで実施
- 9. 常盤「みんなの伝言板」開始
- 11. のびるんdeスクール開始

梅雨に負けない体力づくり!

～福祉村地域包括支援センター～

6月18日午前10時～

芦原校区西高師公民館にて老人会・長生会29名の皆様へ、赤岩荘作業療法士の伊藤先生による認知症予防に効果的なコグニサイズ体操などの講座を開催させていただきました。



6月23日午後1時～

野依校区市民館にて野依校区の地域の皆様26名へ、高齢者に必要な栄養とお口のケアの大切さについて健康講座を実施させていただきました。

参加者全員、満面笑顔でいい汗をかきました。
(渡邊)

牛川小学校にて認知症サポーター養成講座開催

～さわらび地域包括支援センター～

6月7日、牛川小学校6年生3クラス85名に対し、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。牛川小学校では、ここ数年、福祉教育の一環として認知症サポーター養成講座を授業に取り入れていただいております。私たちにとつても今年はどうかな子どもさんがいるのだらうと楽しみにしている講座でもあります。

今回は、レクリエーションや寸劇などを通じて認知症に対する理解を深めていただき、講座終了後はこれまでのオレンジリングに代わるシールをお渡ししております。若き認知症サポーターの今後の活躍が期待されます。
(白井)



訪問歯科診療開始

～グループホーム白珠～

グループホーム白珠では、全入居者様の方を対象に、7月から福祉村病院歯科による訪問歯科診療を開始しました。6日、7日の2日間で歯科医師の先生による診察を行った後、週1回歯科衛生士の方が白珠にお越しいただき、介護職員への口腔ケアに関する指導を行っていただきました。

白珠では、今まで歯科衛生士の方による口腔ケア指導を受けたことがないため、この機会に口腔ケアに関する介護職員のスキルアップが図れ、入居者様の食べる楽しみの継続や、誤嚥性肺炎の予防などに繋がればと思います。
(渡邊憲)



防災訓練に初めて地域の皆様が参加しました

～シャトーローズ八町～

シャトーローズ八町では、5月25日11時15分～14時30分まで防災訓練(昼間想定地震及び火災発生時の防火管理体制の習得)、消火器訓練、炊き出し訓練を行いました。

今回は初めて地域の皆様にも参加していただき、シャトーローズ八町での防災活動の取り組みなどを知っていただくことができました。地域の皆様は「高齢者の中でも要支援要介護の認定を受けた方を安全に避難誘導するには、より落ち着いて行動することが非常に重要である」と感想もいただきました。

自然災害による被害を軽減するためにも、地域との連携強化を図るとともに、助け合える体制の構築を目指していきます。
(加藤)



行事報告

〜軽費老人ホーム若菜荘〜

6月2日、3日に25名の方が、伊古部町にある、ささゆりの里と伊古部海岸の散策に行つて来ました。初夏の陽気の中、豊かな自然と雄大な太平洋の景色を眺め、参加された皆様には、久しぶりの外出行事を楽しんでいただくことができました。(石田)

〜障害者支援施設あかね荘〜

6月6日、お楽しみ会を行いました。買い物で購入したおやつを食べたり各部屋に分かれゲームを行いました。(伊藤)



〜福祉村老人保健施設ジゴテム〜

6月8日に月間レクリエーションとして運動会を行いました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、各階ごとで異なった競技種目を行いました。

4階は赤組青組に分かれて、玉入れと風船送りを行いました。風船送りは50cmくらい大きな風船を使用し、驚かされている入所者様もおられました。普段見られない笑顔があり、競技を楽しまれていました。(中神)



〜5施設合同交流イベント〜

6月15日に複数の障がい者施設にて合同イベントを行い、対抗戦でゲームを実施しました。皆様、思い思いに楽しまれている様子でした。(藤井)

(藤井)



▲YouTube

〜障害者支援施設 珠藻荘〜

6月29日、自治会主催行事として利用者様とフルーチェ作りをして、フルーチェにそれぞれデコレーションやトッピングをして楽しく過ごされました。(岩水)

(岩水)

〜障害福祉サービス事業所すみれ〜

すみれでは家庭菜園を行っています。今の時期は、胡瓜・ミニトマト・オクラ・ゴーヤを畑とテラスで育てており、暑さ対策として朝顔でグリーンカーテンも作っています。夕方涼しい時間に利用者様と一緒に水やりを行いながら、成長を観察しています。収穫時期になると、赤く実ったミニトマトをつぶさないよう気を付けながら収穫の様子や、職員に採れた野菜を見せながらとても嬉しそうなお話をお話をされる利用者様もおられました。今後も四季を通して自然を感じる事ができる体験を続けていきたいと思えます。(青山)

(青山)



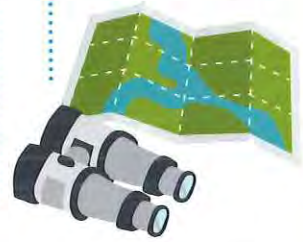
〜共同生活援助事業所明日香ホーム〜

7月3日、明日香ホームにてパン教室を行いました。皆様、自分で作ったパンをお昼に美味しく食べていました。(岸)

(岸)



だれでも旅人 たびびと



「旅」が心身にもたらす効果は様々であり、ストレスの軽減、運動不足の解消、創造性の向上、幸福感を感じると言われています。

「のんほいパークへ行ってきた」 〈植物園編〉

「障害者支援施設 珠藻荘 生活支援員 岩水 友美」

豊橋市ののんほいパークの植物園についてご紹介させていただきます。

東門から入ると最初に見える巨大なガラスの建物には、植物園のシンボルとも言われている温室と、四季の変化を楽しむ屋外植物園があります。

温室の入り口の七夕の笹などの飾付けは、思わず立ち止まってしまうほど煌びやかでした。

温室ではバリアフリーのため、車いす、ベビーカーの方などが安心して通れる道幅になっており、車いすなどを止めてゆっくりと植物を鑑賞できるように工夫されていました。しかし、傾斜が多数あるため、車いすの方は介助者の方と一緒に行動されることをお勧めします。



▲温室内の道幅



▲花飾りのへや

温室では多肉植物や、熱帯・亜熱帯植物などが約85種類も展示されていて、多くの花を堪能することができました。特に最後の「花飾りのへや」ではアジサイ・シクラメンなどが咲き誇っていて、非常に色鮮やかでした。

猛暑が続いていますが、皆様も熱中症対策などをしながら季節の花の観賞に行ってみてはいかがでしょうか。

Vol.173
relay column

さわらび会
のわ

障害福祉サービス事業所 明日香
生活支援員

彦坂 こず恵



梅雨も明け暑

さ敵しい毎日が続

いています。さて、夏の

この時期、私がよく思い出すことがあります。幼少期、緑の水の池の様な所で、近所の子とよく夏になると水着を着て水遊びをしていました。その沼らしき所は、ともだちの家の敷地らしく、おじいさんが遠くからみんなを見守りしてくれていて楽しく遊んでいました。その沼は、なぜかとても気持ち良いくらいぬるぬるしていて、友達と足があたるとツルツルした感触で気持ち良くキャッキヤと騒いでいました。お昼になるとその友達のおばあちゃんが「ご飯を食べていきなさい」と茶色い佃煮風の食べ物とお吸い物を出してくれました。そのご飯の美味しいこと。そのご飯というのは鰻をざく切りにしたひつまぶし、お吸い物は肝水うなぎの肝のお吸い物。

これを食べたなら夏バテ知らずだと、おばあちゃんが言っていたのを今でも思い出します。

そして、あの沼は鰻の養殖用の外プールだと後で知らされました。今となつてはとても良い笑い話ですね。

夏も本番、スタミナをつけるには是非うなぎを食べて暑さをのりきりましょつ。

私のプロフィール

福祉村病院介護医療院
チャンジエイソン ベンニヤルベル

出身 ● フィリピン 西ビサヤ地方
ネグロス島 バコロド市

学歴 ● University of St. La Salle, Bacolod
資格 ● 介護福祉士



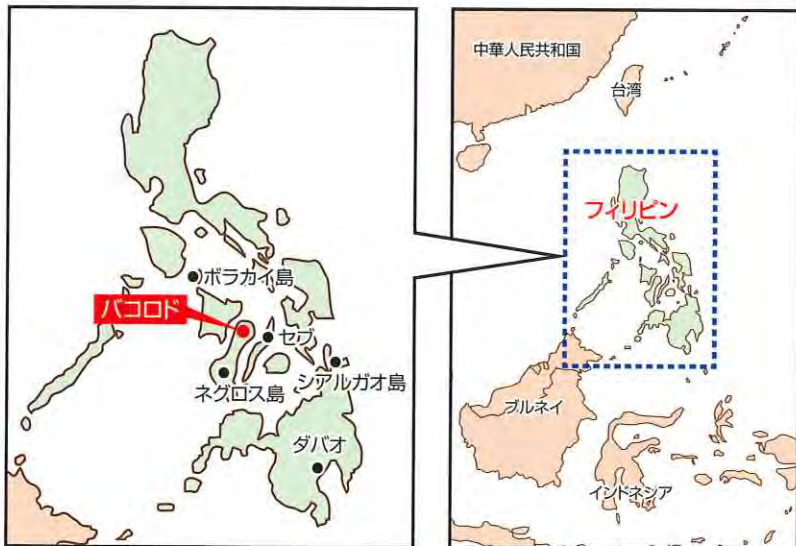
初めまして、私は福祉村病院介護医療院 E P A 介護福祉士のジエイと申します。

バコロド市は、フィリピンの西ヴィサヤ諸島のネグロス島北部にある島内最大の都市。「フィリピンのシニガボウル」であるバコロドは、フィリピンで最も進歩的でエリートな都市のひとつです。熱帯に属することから多種多様な作物を作ることが可能で、サトウキビ、ココナッツ、コブラ、マニラ麻、タバコ、バナナなどの生産が盛んです。市民は主にヒリガイノ語またはイロンゴ語を方言として話します。英語を話す人は他にもいます。

バコロド市のマスカラフェスティバルは、フィリピンで最大の祭りのひとつで、毎年10月に開催されます。マスカラは、mass は英語で「たくさんの」を意味し、kara はスペイン語で「顔」を意味します。笑顔のマスカラは、市民が直面している課題や悲劇を乗り越えて生き残ることを宣言したものです。マスクの笑顔のおかげで、バコロド市は笑顔の街のニックネームを取得しました。

バコロドといえば、バーベキュー料理、チキン・イナサル(Chicken Inasal)がとて有名です。鶏肉に油を吹きかけ、直火で焼き上げた豪快なお料理であるチキン・イナサルは、他地域では醤油味が多いのですが、バコロドスタイルはブラウンシュガー、ココナッツビネガー、カ

フィリピン ネグロス島周辺の主要都市



ラマンシージュース、レモングラスなどで味付けされ、独特の味と香りになります。

バコロド市は笑顔の街であり、誰もがとてもフレンドリーで、いつも笑顔で迎えてくれます。また、さまざまな甘い料理があり、私たちの笑顔がより甘くなります。街は誰にとっても、とても平和で安全です。唯一の要件は、すべての明るい面を見て、笑顔を浮かべることです。



第99回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

さわらび荘 管理栄養士 鈴木 那奈美

8月31日は、「8(ya)en(ner)ji」の語呂合わせで野菜の日です。今回は夏野菜についてお話をします。

夏野菜の旬は6〜8月です。代表的なものとしてキュウリ、オクラ、トマト、ナス、ピーマン、トウモロコシが挙げられます。太陽を沢山浴びた夏野菜は緑、黄色、赤など鮮やかな色合いが多く力強さを感じさせます。

夏は暑さで食欲が低下しやすく、さっぱりとした麺類などで食事を簡単に済ませようとしがちですが、それでは炭水化物に偏ってしまいます。野菜には体の調子を整えてくれる栄養素が多く含まれているため、積極的に食べていただきたいです。

実は、ミョウガやシソなどの香味野菜も夏が旬です。食欲がない時でも香り豊かな薬味をプラスすることでより食べやすくなりますよ。また、トマトやキュウリなどのみずみずしい野菜は生で食べられるものが多く、暑い夏に加熱調理の必要がないのもうれしい特徴と言えます。

夏野菜には、ビタミンC、ビタミンE、カロテンを豊富に含む野菜が多いです。これらは、抗酸化ビタミンといわれ、夏バテ予防にも効果があります。また、水分やカリウムを豊富に含む野菜は、体温を下げてくれます。つまり、熱中症や紫外線のダメージ、夏風邪などの夏に起こりやすい病気や症状から体を守ってくれるのです。

暑い夏を乗り切るために必要な栄養素がたっぷりな夏野菜を食べて、体の中から暑さを吹き飛ばしましょう。



◆病院シユテム

- 6月14日 シユテム幹部会
- 看護師長会議
- 病院長幹部会(理事長ゆかり副理事長参加)
- 15日 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理 健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 21日 衛生委員会
- 22日 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理 健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 24日 医療安全委員会
- 経営企画会議(理事長ゆかり副理事長参加)
- 27日 介護部主任会議
- 28日 早療編集会議
- 看護師長会議
- 医療安全委員会
- 30日 医療安全委員会
- CPC(理事長参加)

◆さわらび白珠亮盤

- 6月7日 グループホーム白珠実地指導
- 牛川小学校認知症サポーター養成講座(松下白井秀石黒)牛川小学校
- 職域別主任ケアマネ会議(福井)つじが丘地域福祉センター
- 石巻校区民生定例会(白井秀)石巻地区市民館
- さわらび学園講義(白井秀)さわらび学園
- 地域なんでも相談会(福井高柳)高山校区市民館
- 包括打ち合せ(白井秀)Web
- 13日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(施設長)Web
- 14日 サラ相談窓口(白井秀)エムキャンパス
- 15日 かも(松)加茂校区市民館
- 16日 地域なんでも相談会(白井秀)森山石巻老人福祉センター
- 17日 尾宅勉強会(白井秀)長神伴聖野(安藤)森山(浪ノ上)住民館
- 21日 西郷校区老人クラブ地域リハ(松下)森山(高柳)石黒(西川)芝能緑陽場
- 障害支援員との意見交換会(松下)白井秀(松井)福井
- 高柳(安藤)石黒(白井秀)長神伴(皇野)Web
- 22日 認知症サポーター養成講座(松下)白井秀(安藤)青陵地区市民館
- 23日 賀茂校区地区相談会(松井)石黒(校区)市民館
- 29日 診療報酬改定研修(併)刈谷保健師会議(松下)Web
- 住宅公社と話し合い(松下)白井秀(さわらび)支援センター

◆さわらびサカデロサカデロサカデロ

- 6月10日 日本福祉大学福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知研修会(山本施設長)Web
- 13日 グループホームフジ誕生会
- 14日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(山本施設長)Web
- 第13回のサカデロサカデロサカデロ苗植え作業

◆若菜荘

- 6月6日 歯科勉強会
- 6月10日 地域活動日
- 13日 映画鑑賞会
- 28日 採用面接(山本ゆかり専務理事)習字(ソノ)
- 22日 採用面接(山本ゆかり専務理事)習字(ソノ)
- 23日 誕生会
- 24日 大正夢演奏会
- 28日 習字(ソノ)

◆シャトーローズ八町

- 6月28日 デイ会議
- 初任者研修(藤田)
- 6月6日 自治会役員会
- 13日 応急手当普及員再講習(高松)
- 14日 理美容(女性利用者様)
- 15日 自治会
- 16日 自立支援協議会運営会議(鳥居)河合)Web
- 16日 障害者の権利擁護(虐待防止 差別解消)研修(田中)石水)Web
- 21日 愛知県生活向上委員会(片山)Web
- 22日 情報交換会(鳥居)河合)Web
- 22日 感染症リスクマネジメント委員会生活向上委員会
- 24日 虐待防止委員会
- 29日 自治会主催行事(フルーチェ)生活介護事業所連絡会打ち合せ(鳥居)Web
- 29日 利用者支援全体会議
- 30日 施設内研修(個別支援計画)について(田中)生産性向上)ソノ)エクト委員会書道(ソノ)
- 7月5日 安全運転管理者講習(山田)ソノ)ポート

◆フェリス福祉村

- 6月6日 監事監査
- 14日 習字(ソノ)
- 15日 大正夢演奏会
- 21日 習字(ソノ)
- 22日 誕生会
- 23日 採用面接(山本ゆかり専務理事)習字(ソノ)
- 24日 採用面接(山本ゆかり専務理事)習字(ソノ)
- 28日 習字(ソノ)

◆あかね荘

- 6月6日 お楽しみ会
- 感染症BCP打ち合わせ
- あかねホーム会議
- 8日 嘱託医来診日
- 9日 THA HOUSE(鈴木)エムキャンパス
- 自立支援協議会 相談支援事業所連絡会 事例検討会(鈴木)
- 9日 知的障害者ケア委員会(鈴木)木村(曾田)
- 10日 介護福祉士実習指導者講習会(庵原)Web
- 11日 知的障害者ケア練習日(鈴木)木村(曾田)
- 15日 自立支援協議会 就労支援専門部会 事務局会(鈴木)木村)
- 16日 自立支援協議会 運営会議(鈴木)木村(曾田)Web
- 全国介護事業者連盟東海支部愛知支部講演会(施設)名古屋)
- 21日 食生活改善講習会
- 感染症対策委員会
- 介護福祉士実習指導者講習会オンライン(村田)Web
- 22日 訪問理由
- 22日 健康診断
- 23日 語りへの会Web
- 26日 知的障害者ケア練習日(鈴木)
- 29日 合同班会議
- 30日 歯科医の視点から子どもの身体と口の成長パタンを考察する(鈴木)木村(曾田)
- 7月1日 ほろろ(ソノ)中級職員研修(豊里)Web

◆すみれホーム

- 6月2日 強度行動障害基礎研修(加藤)伊藤)Web
- 15日 すみれホーム支援会議
- 6月10日 さつまいもの苗植え
- 14日 明日香ホーム支援会議(1日目)
- 15日 自治会
- 17日 防災訓練
- 22日 明日香ホーム支援会議(2日目)
- 23日 ケース会議
- 7月1日 知的発達障害児についての理解
- 4日 東海医療福祉専門学校実習生2名(8月5日)

◆しろがね

- 6月7日 中学生職業体験実習(9日)
- 8日 バス散歩
- 13日 おやつ作り
- 16日 障害者の権利擁護研修(村松)Web
- 20日 ロケット大会
- 22日 バス散歩
- 29日 バス散歩
- 7月1日 知的発達障害児についての理解研修(村松)Web
- 実務者研修オリエンテーション(藤井)永田(村松)中部福祉専門学校
- 2日 気になる子どもの支援方法について(蚊爪)山本)Web

◆すみれ

- 6月8日 おやつ作り
- 14日 豊橋特別支援学校就業体験(17日)
- 15日 おやつ作り
- 15日 Zoom交流イベント
- 20日 合同ゲーム
- 20日 浜名特別支援学校就業体験(22日)
- 23日 おやつ作り
- 27日 浜名特別支援学校就業体験

◆各施設共通

- 6月6日 障害福祉部戦略会議
- 7日 CTS決算報告 監事監査
- 8日 のびのびdeスクール(玉川)小学校)
- 8日 災害時障害者受入体制基盤整備会議
- 9日 在宅医療福祉部会Web
- 9日 障害福祉部 交流イベント)接続テスト)Web
- 10日 高柳福祉部会議
- 10日 障害福祉部 ハラスメント会議
- 13日 障害福祉部会 Web
- 14日 夏休み親子福祉体験講座 第1回実行委員会 Web
- 15日 利用者(寄り添う)会)オンライン交流
- 17日 障害福祉部 交流イベント)Web
- 17日 障害福祉部 交流会)Web
- 20日 第1回文化祭実行委員会
- 20日 第2回文化祭実行委員会
- 22日 障害福祉部 虐待防止担当会議
- 22日 さつまいも(ソノ)コロナ感染症(ソノ)Web
- 23日 朝食情報交換会
- 24日 経営企画会議 Web
- 27日 利用者(寄り添う)調整会
- 28日 60周年記念実行委員会
- 28日 新人法人研修
- 7月1日 11担当者会議 Web
- 3日 生産性向上)プロジェクト会議 Web
- 3日 のびのびdeスクール)担当者会議
- 4日 障害福祉部戦略会議 Web

さわらび会後援会寄附ご芳名

令和4年6月6日～令和4年7月5日

豊橋市東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
豊橋市野依町字西物草12	家具の街ヨコモランド	10,000円
新城市南畑74	光田屋(株)	30,000円
豊橋市小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
豊橋市東雲町	梅村敏夫氏	14,000円
豊橋市入舟町21	(株)三恵薬品	10,000円
豊橋市駅前大通一丁目55 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000円
碧南市大浜上町1-36	碧南マツダ(株)	10,000円
豊橋市野依町字山中19-14	福祉村病院職員有志	1,000円
	匿名氏	3,000円
	匿名氏	1,000円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 **104,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
896,742,696円

●福祉用具紹介のコーナー

「ロンボポジショニングピロー &クッション(RM6-H)」

高さを保持し、安定感よく姿勢をサポートする台形型クッションです。特殊なチップをもちいたロンボメッドと内部ウレタンフォームの2層構造で優しくフィット+しっかり保持。下肢挙上や側臥位の背部、腹臥位などさまざまな体位をサポートできます。
(珠藻荘障害者生活支援センター 鳥居)



販売価格:20,680円(税込)
※介護保険のレンタル対象商品です。

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

第19回 夏休み親子福祉体験講座 ～ご応募ありがとうございました～

日時 2022年8月11日(木) 山の日/9:00～12:00
(2022年8月15日(金)～8月31日(金)の間、8月11日の様子をYouTubeに投稿)

開催方法 Zoom(オンラインで開催)

対象者 小中学生とそのご家族(100組先着)

内容 ●①障がい者体験 ②高齢者疑似体験
③アート体験 ④福祉車両講座 ⑤手話講座

エレクトーンの寄附をいただきました ～障害福祉サービス事業所 明日香～

天伯の運営推進会議に参加されている地域住人の方よりエレクトーンの寄附をいただきました。利用者の皆様はさっそく演奏をして楽しんでいます。大切に使用させていただきます。(安田)



オムツの寄附をいただきました ～福祉村病院～

阿部芳子様より、オムツと尿とりパッドをいただきました。ありがとうございました。



＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※豊橋善意銀行を通して

- ▼金子正巳様※
すいか寄贈(珠藻荘)
- ▼奥田様
ネギ寄贈(天伯・第二さわらび荘)

明日香利用者様の絵を記念誌にて 掲載していただきました ～障害福祉サービス事業所 明日香～



豊橋西ライオンズクラブ様の50周年記念誌の裏表紙に、明日香の利用者様が描いた車いすの絵を掲載していただきました。ありがとうございます。

今後もアートを通じて様々なところで貢献していけるよう、支援にも力を入れてまいります。

(安田)

編集後記

新型コロナウイルス感染症第6波が治まり迎えた夏は、第7波が到来、1日20万人を超える感染者が確認されるほど感染が治まりません。熱中症の予防のため適度な距離が保てる場合はマスクを外しての生活が推奨され始めた矢先でした。厚生労働省新型コロナウイルス感染症特設ページには「マスク着用について」のページが掲載されています。屋外、屋内、子どものマスク着用について表やポスター形式で書かれています。小学生から高校生の就学児、就学前児は2歳未満と2歳以上の着用についてかなり細かく書かれていますが、これを一人一人が理解し適正な着用を行うことは難しいような気がします。最近ではマスクをせずに会話をされている方もいらつしやいます。手洗い、マスク、換気、3密回避を続けることがまだまだ必要です。熱中症対策でこまめな水分補給も大切です。皆様方に支えられ山本病院開業から60年を迎えることができました。特集では写真と年表でさわらび会の歴史を紹介しています。

(谷)

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デヴェルテ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天白 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ ☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム ☎(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之